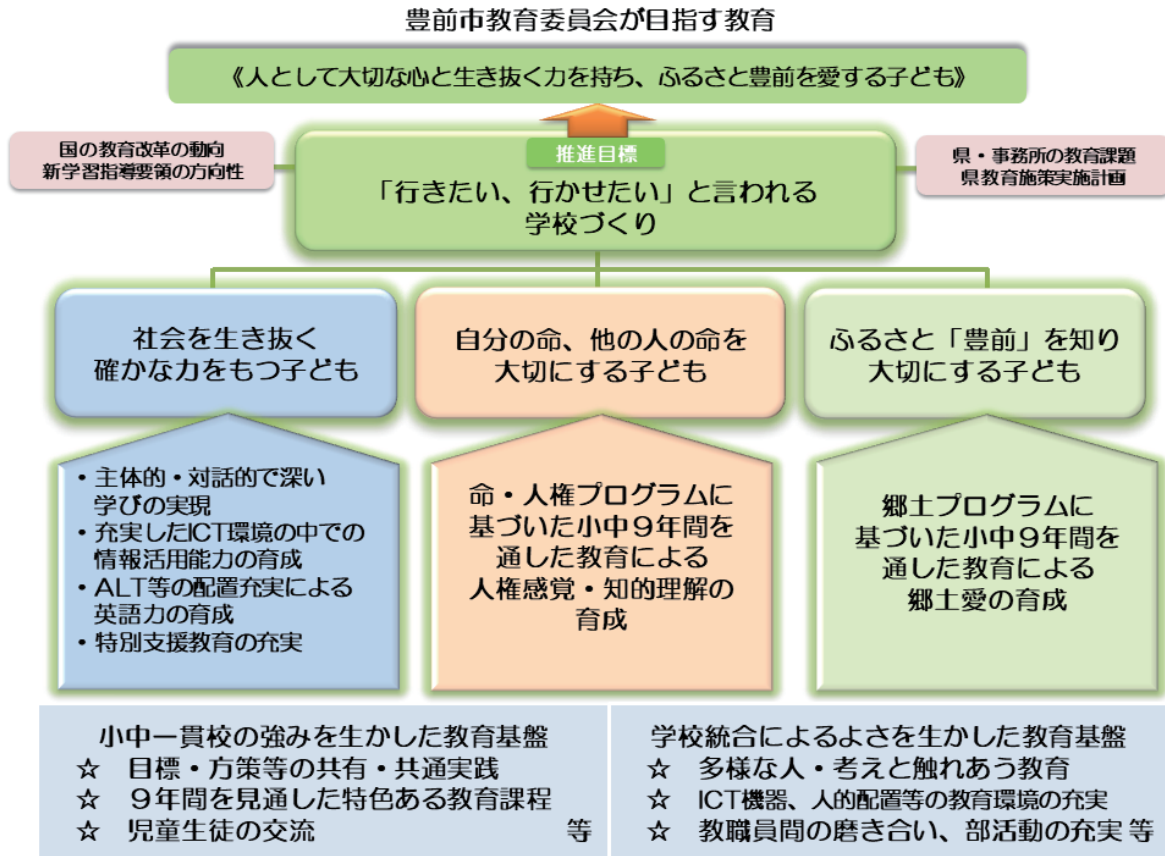


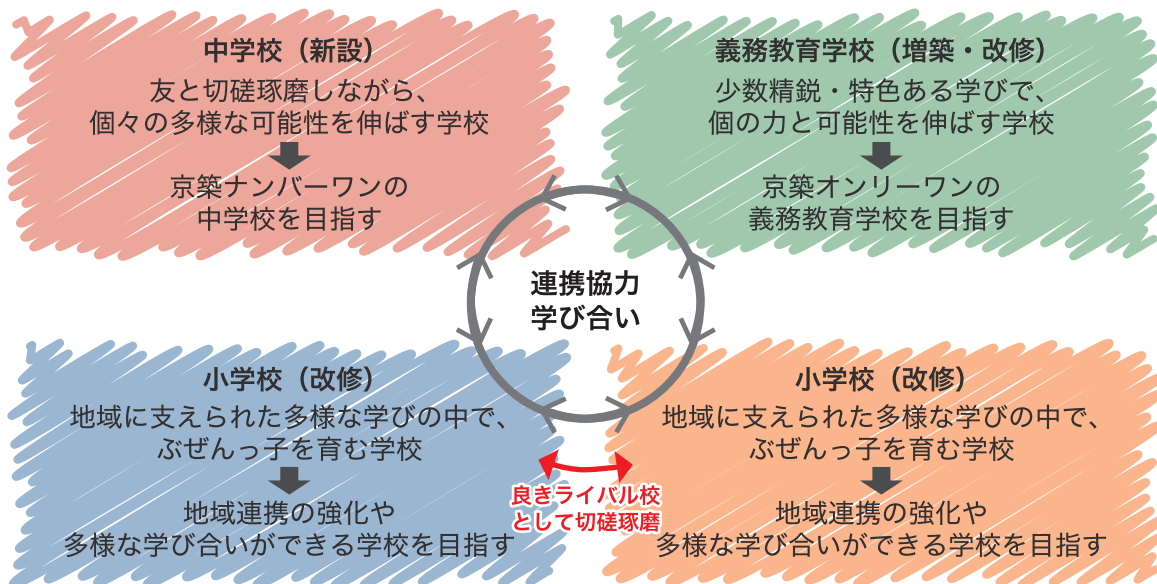
豊前市立学校再編成基本計画 概要版

■豊前市が目指す教育方針



■豊前市が目指す学校づくりの基本方針

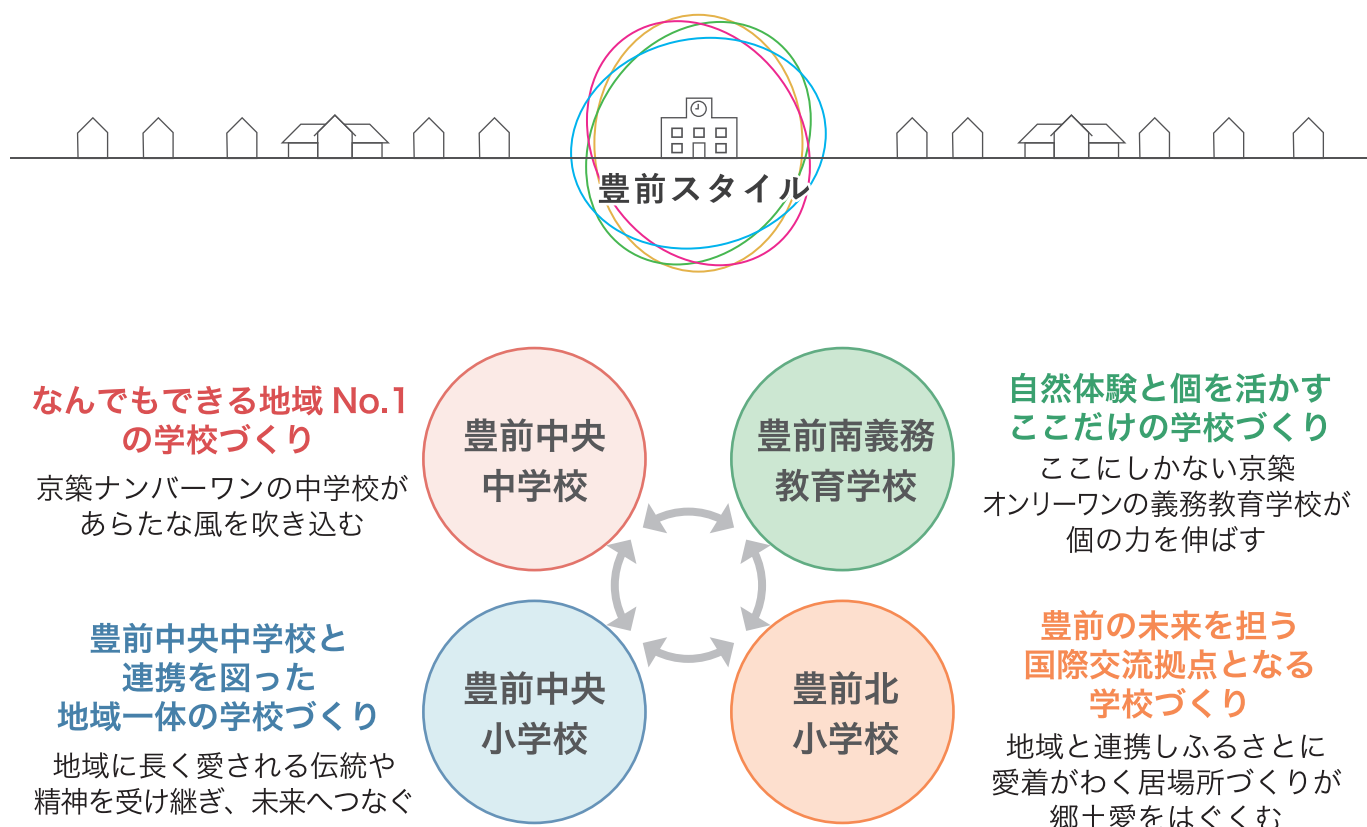
再編成される4校は「豊前市学校教育基本構想」に基づいた教育方針を具現化する為、4校に共通する整備方針と立地特性や地域特性を踏まえた各校独自の特色ある整備方針を合わせもった学校づくりを行います。



■豊前市の学校施設コンセプト

学校再編成により、小学校・中学校・義務教育学校という3つの形態の学校が同時に存在することとなります。時間を経たものを修繕して利活用する学校や新規に建設される新しい学校、異なる学年の児童生徒がともに集う学校など、新旧がそれぞれの異なる良さをもって融合し、出会うことで新しい価値観や新しい様式、新たな地域との関係性を生み出します。

この新しい様式を「豊前スタイル」とし、豊前市が求める学校施設の未来に向けて、豊前市の地域性を活かした学校づくりを行います。再編成する4校には、各校毎に特色ある施設整備を進めます。時代に対応した特色ある4校を実現する施設コンセプトを以下に示します。



行きたい、行かせたいと言われる学校づくり

多様な学習スタイル

- ・対面式やオンライン等の様々な学びの環境づくり
- ・多様な学習に対応できる柔軟な学習空間づくり

ワンチームとなれる執務環境

- ・教職員が交流しやすい執務環境づくり
- ・教職員の働きやすい環境づくり

地域との連携により郷土愛をはぐくむ

- ・ふるさとに愛着がわく居場所づくり
- ・「寺子屋」での学習等地域と連携して協働する拠点づくり

安全・安心な教育環境

- ・防災拠点としての施設づくり
- ・ユニバーサルデザインの採用

様々な交流スタイル

- ・児童生徒のコミュニケーションを誘発する生活空間づくり
- ・部活動の選択肢を広げる環境づくり

居心地が良い施設環境

- ・自然エネルギーの活用
- ・音や温熱への配慮や断熱性能の向上

※再編成後の学校名はいずれも仮称です。

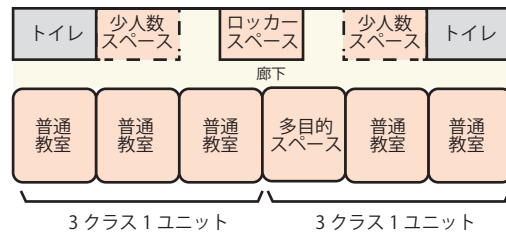
■学校施設の在り方

□学習環境

本計画においては、下記に示すように普通教室とオープンスペースを持った柔軟な学びの形態が提供できる教育環境づくりを目指し、新設小学校の改修及び新設義務教育学校の増築においても、可能な限り対応することを目指して整備を進めることとします。

オープンスペースにゆとりを持たせ、 改変時にも多様な学びに対応できる構成

- ・廊下空間を大きく確保し、多様な学びに対応した空間を確保する配置。

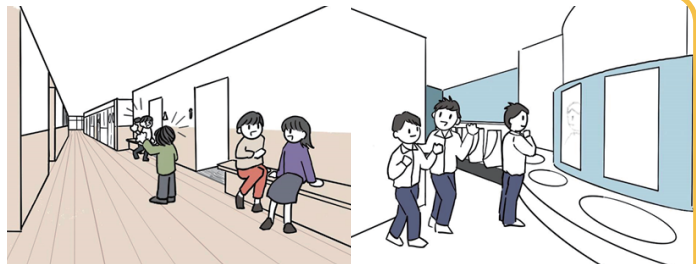


□生活環境

学校は児童生徒にとって一日の時間の大半を過ごすことになる大切な空間です。児童生徒の心の健康づくりのためにも豊かな学習・生活の場となるよう、ゆとりと潤いのある居心地のよい学校施設を目指し、子どもたちの居場所となる温かみのあるリビング空間づくりを推進します。

(1) 快適で温かみのあるリビング空間の整備

子どもたちがゆっくり過ごしたり落ち着いたりすることができる居場所となるよう、ベンチなどの小空間やトイレにおいてもコミュニケーションが図れる工夫を施します。

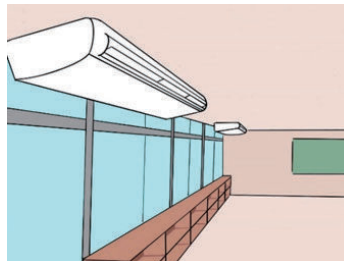


ベンチを配置した廊下の休憩コーナー

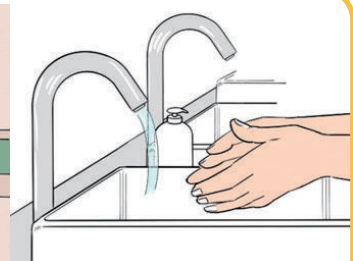
児童生徒が快適に過ごせる明るいトイレ空間

(2) 健やかで衛生的な環境の整備

熱中症対策や衛生環境改善の視点から、冷暖房設備等の整備やトイレの洋式化や乾式化を積極的に行うとともに、手洗い設備の非接触化を積極的に推進します。



空調設備を完備した教室



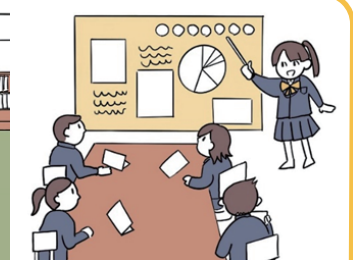
手洗い器の非接触化

(3) 読書・学習・情報のセンターとなる 学校図書館の整備

学校図書館を核とし、コンピュータ教室と組み合わせて、読書、学習、情報のセンターとなる「ラーニング・コモンズ」の整備を推進します。



ICTを活用した調べ学習の空間



発表や表現の場ともなる学校図書館

□執務環境

学校施設は児童生徒の学習・生活の場であるとともに、教職員が働く場でもあるため、授業を行う教室はもとより、職員室や準備室等においても、教職員がより効果的・効率的に授業の準備や研修、様々な校務等を行うことができるよう、執務環境としてふさわしい基本的な機能を確保します。

職員室は、教職員が円滑に執務、作業、打合せ等を行うことができるよう、十分なスペースを確保するとともに、統合型校務支援システム等を含め、常時ICTが活用できる環境とし、遠隔・オンライン教育のための映像コンテンツ制作も含めた教材の研究・準備やオンライン会議・研修を行う空間の整備も検討します。

■豊前中央中学校の施設計画

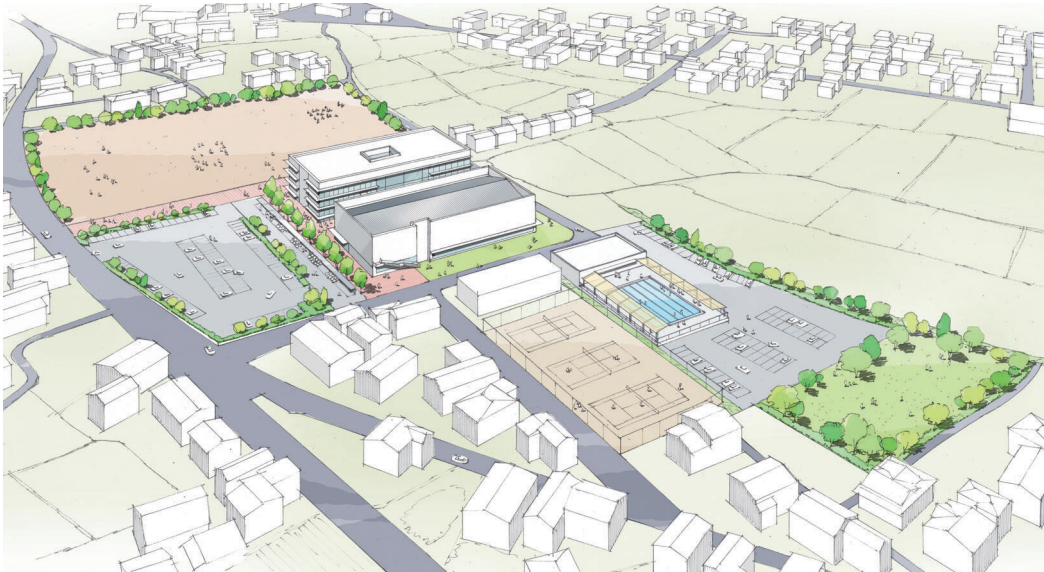
□施設コンセプト

「なんでもできる地域No.1の学校づくり」

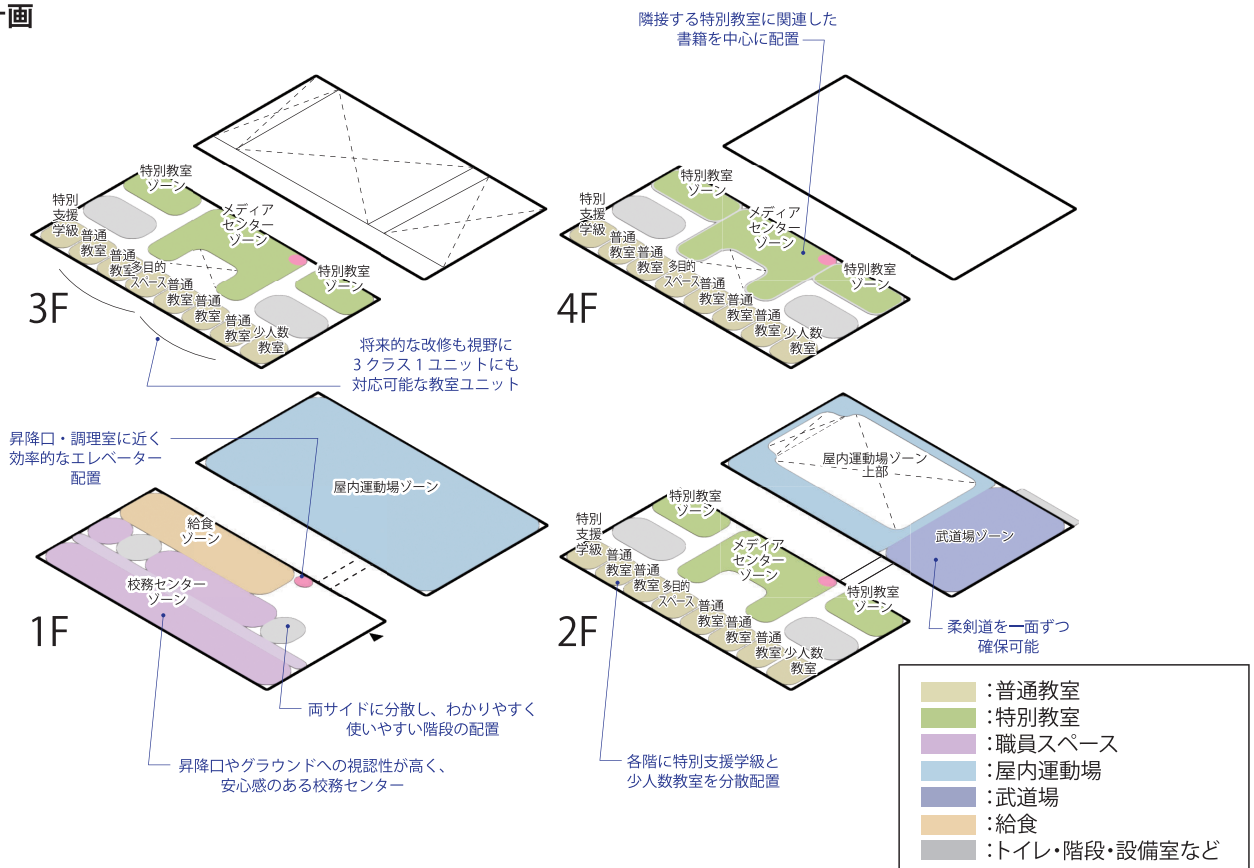
学校再編成により充実した教育活動が期待できる学校規模となるため、新しい学びに対応した教育環境の整備や部活動の充実など、京築ナンバーワンの充実した学びの環境を整備し、広域からも生徒が集まることが期待される「行きたい、行かせたい」学校とします。

最新の ICT 機器への対応や様々な部活を見据えた競技環境の整備等、文武両道の教育活動がフルスペックで実現できる環境を目指します。

□配置計画



□平面計画



■豊前南義務教育学校の施設計画

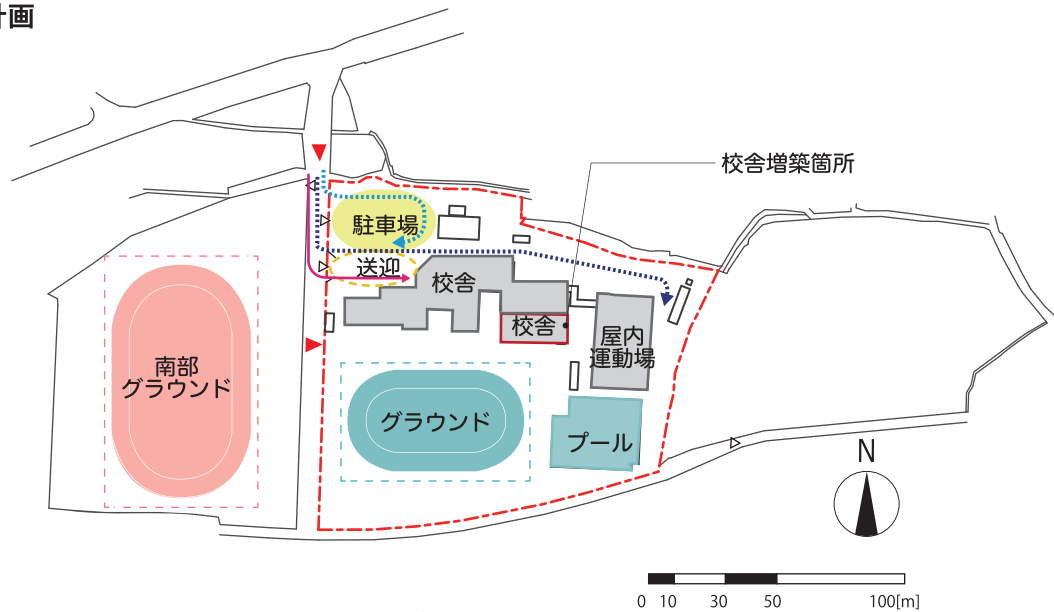
□施設コンセプト

「自然体験と個を活かすここだけの学校づくり」

小規模特認校として、小中の枠にとらわれない9年間を通した特色あるカリキュラムを構築し、個の特性に応じた教育活動を実施します。特に芸術系活動に特化し、京築オンリーワンの特色ある学びで個の力と可能性を引き出す学校とします。

自然に囲まれた穏やかな環境と地域との密接なつながりにより、豊かな人間性が育つ環境を整えます。

□配置計画



□平面計画



※本資料に掲載しているイメージ図は、現時点でのイメージであり、今後の検討により変更の可能性があります。

豊前北小学校の施設計画

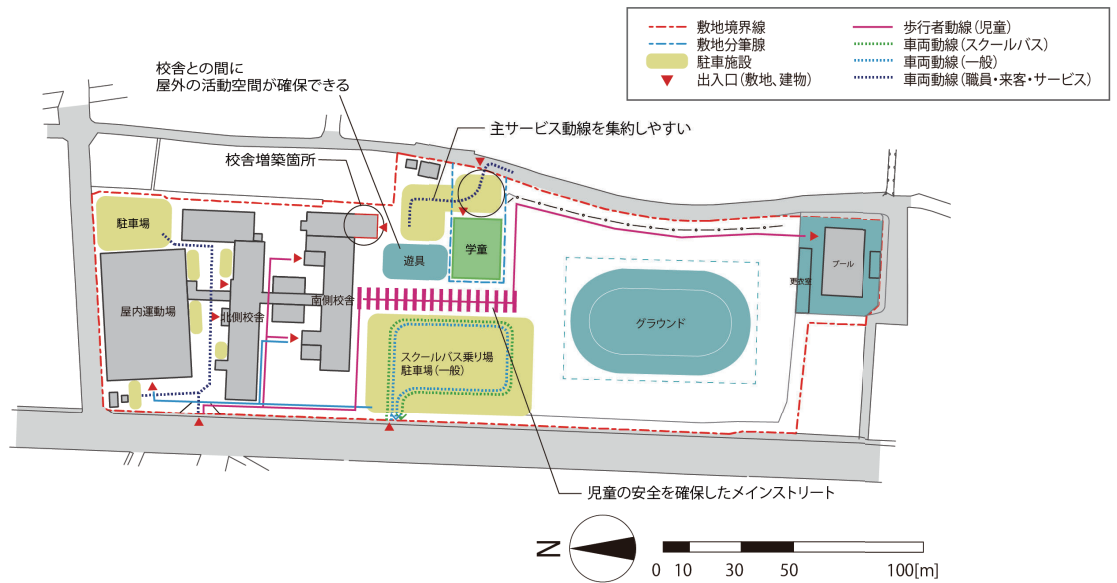
施設コンセプト

「豊前の未来を担う国際交流拠点となる学校づくり」

豊前中央小学校と切磋琢磨し、互いに高めあいながら連携を図ることが出来るよう ICT 環境等を充実させ、多様な考えを認めながら磨きあえる力を育てる学校づくりを行います。

地域ラウンジにおいては駅前のに立地特性を活かし、国際交流の場を整備するなど、多様な文化に触れる機会の創出を行います。

配置計画



口平面計画



■豊前中央小学校の施設計画

□施設コンセプト

「豊前中央中学校と連携を図った地域一体の学校づくり」

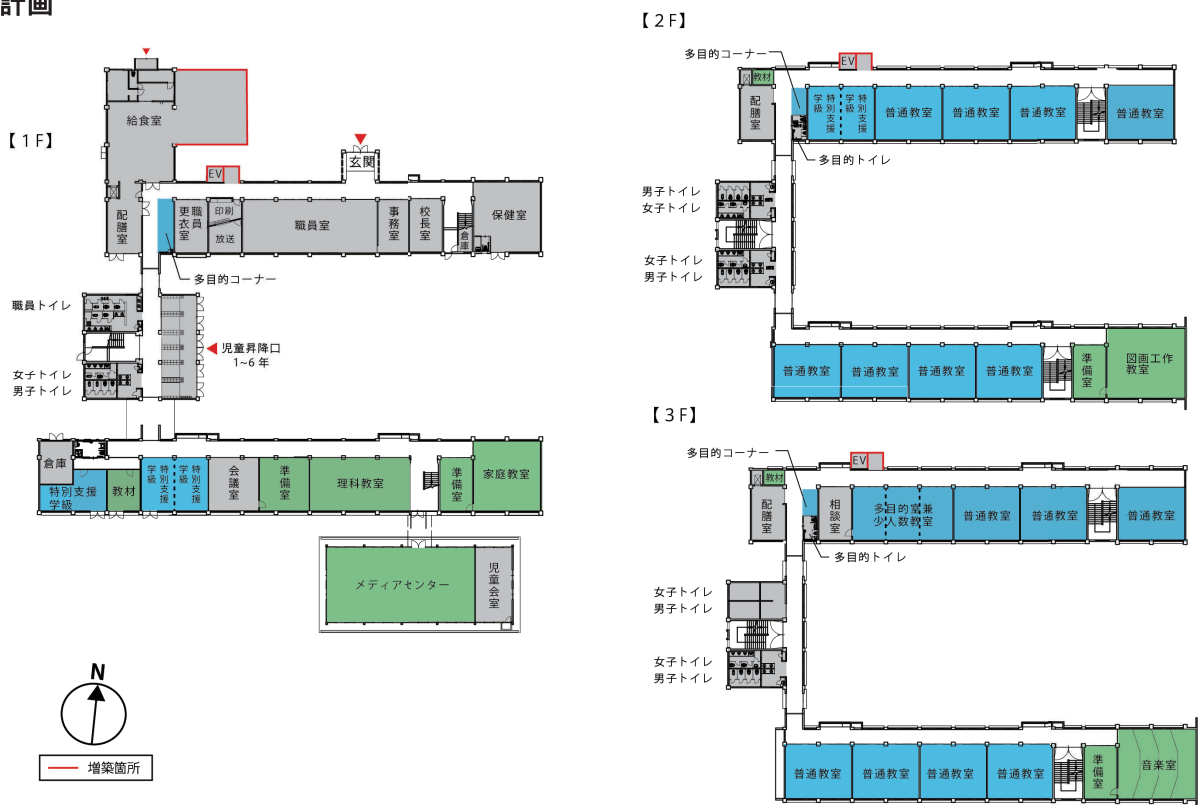
限られた施設規模の中でも多様な学びに対応できる多目的スペースなどの環境整備を充実させ、地域の多様な人や文化に触れ、その良さを感得する教育活動の実践により人間力を高める学校とします。

近接している豊前中央中学校に通う生徒や地域住民が気軽に立ち寄れる地域ラウンジを整備し、地域一体となった学校づくりを行います。

□配置計画



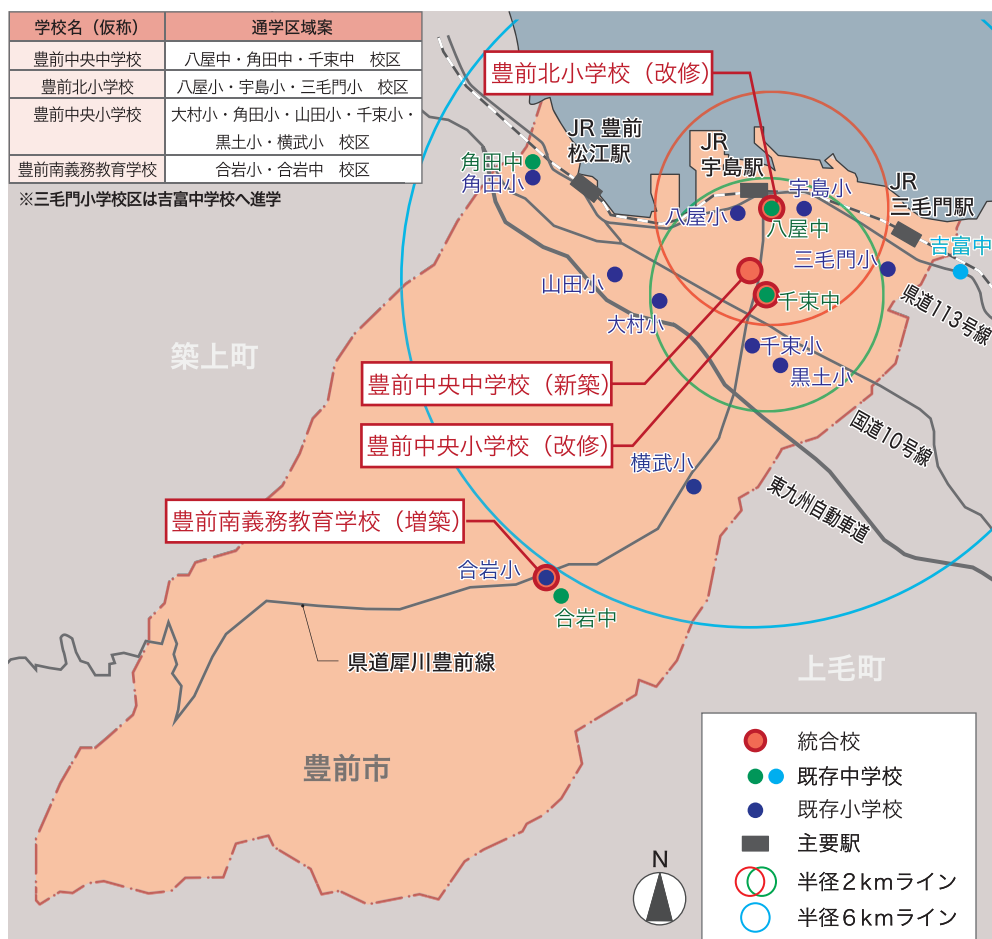
□平面計画



※本資料に掲載しているイメージ図は、現時点でのイメージであり、今後の検討により変更の可能性があります。

■計画敷地の位置と通学区域

本計画では、市街地に位置する旧築上中部高等学校跡地に統合中学校「豊前中央中学校」を新設します。郊外に位置する現合岩小学校は一部増築を行い、義務教育学校「豊前南義務教育学校」として新たに整備します。また、市街地の中心に位置する現八屋中学校及び千束中学校は「豊前北小学校」、「豊前中央小学校」にそれぞれ改修します。スクールバスも機能的に導入し、子どもたちが通いやすい環境の整備に努めます。



■児童生徒数の想定

学校名	2027年 (令和9年度)	学校名	2028年 (令和10年度)
豊前中央中学校	473人	豊前北小学校	467人
豊前南義務教育学校	48人	豊前中央小学校	407人

令和4年4月1日現在の人口による推計

■スケジュール(案) ※今後の検討に伴い変更の可能性があります。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
新設中学校	基本計画	基本・実施設計		建設工事		開校	
義務教育学校		基本・実施設計		建設工事		開校	
新設小学校				基本・実施設計		建設工事	開校